

(様式第1号)

## 新規調査研究計画書(全体計画)

調査研究課題	健康効果をうたうサプリメントおよび清涼飲料水中のミネラル濃度
計画期間	平成19年度～平成20年度 2年間
背景必要性	近年、健康志向の増加に伴い、健康効果をうたうサプリメントや清涼飲料水が広く摂取されるようになった。これらは、種類も多様で栄養成分の表示については、スポーツ飲料のようにミネラル成分が表示されているものもあるが、多くのものについては、タンパク質、脂質、糖質量に加え、ナトリウム量が表示されているだけである。しかし、あまり表示されることのないカリウム、リン量などは、慢性腎疾患などの慢性疾患を持つヒトによっては、疾患の進行を抑える上で摂取量の管理が必要な物質であり、これまで、清涼飲料水やサプリメント中のリン量などについての報告はほとんどない。そこで、市販されている清涼飲料水やサプリメント中のカリウムおよびリン量などミネラル成分の含有量を調査し、実態を把握する必要があると考えられる。
目的	本研究では市販サプリメントや清涼飲料水について、表示されることの多いナトリウム、非表示例が多いカリウム、リンおよびその他のミネラル量について分析し、含有量の実態を明らかにすることで、慢性疾患の進行を抑えるための食事などの管理の目安とし、また、過剰摂取による健康被害防止に役立てることを目的とする。
計画内容	以下の手順で検討を進める。 1 清涼飲料水の前処理法、分析条件の検討 2 清涼飲料水の実試料の測定 3 サプリメントの前処理法、分析条件の検討 4 サプリメントの実試料の測定
研究目標 (達成しようとする成果及びその活用方法)	慢性疾患の進行を抑えるための食事などの管理の目安とし、また、過剰摂取による健康被害防止に役立てるために、市販サプリメントや清涼飲料水中ナトリウム(表示されることの多い)、カリウム、リン(非表示例が多い)およびその他のミネラル量の実情把握すること。
実施上の課題及び対応	
備考	